

三藩市唐人街の社会構造(四)

——広肇帮の一典型——

内田直作

□ 遡源総堂——Soo Yuen Benevolent Associationと原宗総公所

「遡源総堂」と「原宗総公所」とは雷・方・鄭の三姓の団体であって、三藩市唐人街のグラント・アベニューとクレイ・ストリートの東北角に両者が建物を遡源楼と西陵楼に二分して屹立している。

遡源総堂は雷・方・鄭の三姓団体の威儀作法のための本堂であり、原宗総公所は同姓大衆のためのクラブ的存在となっている。既述の余風采武漢公所や黄江夏雲山公所の場合と同様の二重構造を保持している。

遡源総堂の三姓の系譜は「遡源同宗縁起」によれば、雷・方・鄭の三姓は同宗であって、その始めにえた姓は「雷」姓であって、神農の苗裔の帝榆罔子がそれであった。彼は蚩尤を討伐した功により方山に封ぜられて「方」

姓を得るにいたった。雷・方の二姓は異っていても同原とされる所以である。宋の高宗朝におよんで方愈平が宣

三藩市唐人街の社会構造四(四)

域侯に封ぜられ、「鄭」の姓を下賜された。鄭姓は方姓に淵源し、雷・方・鄭の三姓は同源に遡りえられる一脈であるとされている。⁽¹⁾

始祖の雷氏は後に河南・陝西・廬江にうつり、宋代におよんで雷・方・鄭の三族は江西・湖南・広西・浙江・福建に分居する以外に、その多くは広東省の南雄・新会・南海・中山・開平・台山・河源の各県に移住し、今日にいたるまで七百余年におよんでいる。広東省からさらに海外に出洋するものも少くなく、とくにアメリカ大陸に進出するものも多し。⁽²⁾

華僑社会の習俗にしたがって、他郷に客となるとともに、族務がしげく、同族の使命にこたえるため遡源堂を組織し、団結互助により、同族と宗邦の幸福を謀るにいたったことを明らかにしている。⁽³⁾ 以上は遡源堂の系譜の概略である。

雷・方・鄭三姓のアメリカにおける人口分状況——以下、アメリカにおける遡源堂三族の分布状況について概観しておこう。

まず、サンフランシスコについては、一九四九年度（以下の各地の人口分布状況はすべて本年度についてである。）で、雷姓六五三名、方姓三二八名、鄭姓六二五名、計一、六四六名であって、このうちクラブ的な原宗公所に入会しているものは九〇〇余名とされている。⁽⁴⁾ 原宗公所は一九四七年開催の第十屆懇親大会で遡源堂に合併されたから、両団体は今日では何等の差別なく、三族の昆仲は均しく両団体に所属することとなっている。

ニューヨークの遡源分堂は三族昆仲の総計は六五五名であって、分堂に登録せるものは約六〇〇名程度で、基金を納めたものは二〇〇余名であって、昆仲の合作互助は十分ではないが、表面上の実力は大きく、声望は良

好と報告されている。

サクラメント（カリフォルニア州）分堂の昆仲は計一、二〇〇余人であって、そのうちスーパーマーケットを経営するもの四〇余家、餐館（料理業）は一〇余家、衣館（洗濯業）は二―三家にすぎない。本埠の昆仲で八〇才に達するもの二名、七〇才台のもの三―四人でその他はすべて中 younger 層に属すると報告されている。なお、本埠の分堂は樓業二座を所有し、樓業収入によって財政の安定化を期している。

クリーブランド（オハヨー州）分堂の昆仲は計二〇〇名であって、そのうち女子七―八〇名であって、独立の生計者は五〇名程度にすぎない。現地出生の二世青年達は族務に関心がなく、華文学校の設置のないことも堂務に大きな影響を与えているとされている。

クリーブランドにおける華僑人口総数は六〇〇余名と報告されているから、分堂昆仲はその三分の一程度を占めている。だが、この同姓集居も後退の傾向をみせ始め各地に分散化をみるにいたり、分堂の力量が日に減退していることが報告されている。

シアトル（ワシントン州）分堂はその盛時には昆仲五〇〇余人を算したが、現在では五―六〇名にしかすぎないで、堂務の進展をみていない。

ペルタマ（カリフォルニア州）分堂の昆仲は二〇〇余名で、堂務の財政逼迫が報告されている。ロスアンゼルス分堂の昆仲は一〇〇余名で、各地に散居し、堂務は芳しくないとされている。スタックトン（カリフォルニア州）分堂の昆仲は一〇〇余名で、そのうち会費（年五ドル）を抛出する成年会員は七〇名を算している。

その他シカゴ（イリノイ州）分堂の昆仲は六―七〇名、ポートルランド（オレゴン州）分堂のそれは六〇余名、

三藩市唐人街の社会構造(四)

メリーズヴィル(カリフォルニア州)分堂のそれは二〇名前後である。

右の遡源総・分堂の昆仲人口数を整頓すると次の通りとなる。

| | |
|------------|----------------|
| サンフランシスコ総堂 | 一、六四六名 |
| ニューヨーク分堂 | 六五五名 |
| サクラメント分堂 | 一、二〇〇余名 |
| クリーブランド分堂 | 二〇〇名 |
| シアトル分堂 | 五〇六〇名 |
| ペルタマ分堂 | 二〇〇余名 |
| ロスアンゼルス分堂 | 一〇〇余名 |
| スタックトン分堂 | 一〇〇余名 |
| シカゴ分堂 | 六〇七〇名 |
| ポートランド分堂 | 六〇余名 |
| メリーズヴィル分堂 | 二〇名 |
| 計 | 四、二九一〇四、三一一名前後 |

右の遡源堂三姓の人口数についての総分堂の報告のうちには、各地への分散化による連絡の困難と二世以下のアメリカ化による同族の團結精神の後退が報告されている。だが、一面樓業ビルの新規購入、もしくは改修により外的にはその輪奐の美をほこり、体面を依然として固守していることも等閑視されてはならない。

遡源堂三姓の出身県は「美国三藩市六会館重修六山墳場徵信録」によれば、中山県（陽和会館）と台山県（甯陽会館）に集中している。方姓のみについては、肇慶府属の肇慶会館出身者のうち、第一位の周姓二七〇名について、第二位の二二七名を占めている。中山県属の陽和会館の出捐者については、方姓九四名、雷姓二二名、鄭姓一二名がみいだされる。他方、本誌第二十一号所載本稿(二)に明らかにした通り、甯陽会館（台山県出身者）の正主席選出回数、黄姓六回、李姓四回について、雷姓二回と第三位を占めていることからしても、台山県出身者中、雷姓は大姓としての地位を保持していることが明らかにされる。さらに、遡源堂が台山県の新昌・荻海・長沙の三埠に遡源堂樓業建設にも協力しているから、その出身地が台山県に所属するものが多いことは明らかである。筆者は先に地域団体は住民団体の連合にしかすぎないことを指摘したが、逆に前述の傾向からして姓氏団体が一面地域団体の実体をもち、同姓同郷団体として緊密にからみあっていることが見失われてはならない。

なお、遡源堂は右掲のアメリカの各都市のみならず、専ら広東人の進出したキューバ・香港と、さらにシンガポール各地にも存在している。

遡源堂総章——全美遡源堂総章によれば、本堂の宗旨は、団体を強固にし、宗植を連絡し、相互扶助し、福利を増進することにある（第二条）。全米の雷・方・鄭三族の昆仲はその籍貫（出身地）のいかに問わず、均しく本堂に所属する（第三条）。

本堂の組織は、総堂・分堂・原宗公所・財産保管委員会に分けられ（第四条）、総堂はサンフランシスコに、分堂はサクラメント・スタックトン・ロスアンゼルス・シカゴ・クリーブランド・ニューヨーク・シアトル・ボス

三藩市唐人街の社会構造(四)

トン・ペルタマ・メリーズビル・サンアントニオ・エルパソにおかれている(第五条)。

次に、第三章権利の条において本堂昆仲は選挙権と被選挙権をもつ(第八条)ほか、昆仲の身家の生命財産を保障し、もし他人から中傷もしくは危害を加えられるときは、本堂は全力をつくしてこれを保護する(第九条)。さらに、昆仲が不幸・意外の事件、貧病に当面したときは本堂は物質的、精神的援助を与える(第一〇条)。昆仲に糾紛発生したときは、所属の堂の調解をうけ、もし解決不能のときは総堂が調査決裁をする。なお、解決不能のときは、二年毎に開催の懇親大会に呈出して最終の公判を行なう(第二一条)。

義務に関しては、満一八才以上で正式学生でないものは、基本金一〇ドル・登記費五〇仙・年費・額捐(定額の寄附)・特別捐を納付する義務を負う(第一五条)。

選挙については、職員会議で二名の候補者を推薦し、区内昆仲全体の選挙により三一名を当選議員とする。当選議員は九名を互選して主席候補者とする。職員会議で複選して得票の最多の三名(但し毎姓一名宛とする)を正副主席(正一・副二)とする(第一六条)。職員編制については、総堂は正主席一名・副主席二名(毎姓一名宛)・中文書記二名・西文書記二名・司庫(財政)三名(毎姓一名宛)・交際二名・核数(監査)三名・議員一六名・雇用幹事・庶務各一名とする(第二〇条)。分堂は正主席一名・副主席一名とし、その他の職員は当地の情形を酌量して別に定める(第二一条)。三藩市の原宗公所は正副主席各一名とする(第二四条)。

職員の権限については、総堂と分堂の正主席は会議を主持し、該堂議決の一切の事宜を執行する(第二六条)。副主席は主席に協助し、正主席欠席の場合その職権を代行する(第二七条)。中文書記は該堂の一切の來往文件を主理し、会議時には記録をする(第二八条)。西文書記は一切の西文來往文件を主理し、西人との事宜を交渉する

(第二九条)。総堂司庫員は財政出納と簿記を主理し、四カ月毎の輪番交代とする(第三〇条)。核数員は該堂の一切の収支金額を監査する(第三一条)。主席が十分にその職責を果さない場合は、全議員の三分の二の同意により主席の弾劾を提出する権限あるものとする(第三四条)。

會議については、総堂・分堂の職員會議を常会と特別会に分ち、常会は毎月召集、特別会は特別の事故あるとき主席が随時召集する(第三五条)。昆仲に事故があり、本堂の調解を請求し、もしその判決に原告・被告何れかが、裁判が不公平であると認めた場合は総堂に上訴することができ、総堂の裁判にも不服の場合は懇親大会に上訴することができる(第三七条)。懇親大会は四年毎に一回開催する(第四〇条)。懇親大会の代表は総堂六名、原宗公所一名、ニューヨーク分堂四名、サクラメント分堂四名、スタックトン・クリーブランド・シカゴ・ロスアンゼルス・ボストン・ポートランド・シアトル・ペルタマ・メリーズビルの各分堂は二名、サンサントニオ・エルパソは各一名宛とする。懇親大会開催地の代表は右の定額数の二倍とする(第四一条)。全米懇親大会が本堂の最高権力機関であつて、懇親大会閉幕後は総堂をもつて最高の権力機関とする(第四三条)。

財政については、総堂の財政はその多少にかかわらず、正副主席一名・司庫三名・正中文書記一名を経由し、総堂名義の銀行預金引出しの際は七人中の三人の署名がなければ効力を生じない(第四四条)。分堂の銀行預金は当該分堂の自行決定によるものとし(第四五条)、その預金が二、〇〇〇ドルを超過する場合は、その超過額は財産保管委員会の預金口座に振りこみ、それに対し利息が与えられる(第四七条)。総堂と分堂の出納は毎月の常会で監査され(第四六条)、毎年その収支金額を結束して印刷の上監査に便しなければならぬ(第四九条)。懇親大会の一切費用は総堂の完全負担とする(第五〇条)。総堂主席の毎年の交際費は一〇〇ドル、副主席五〇ドル、中

三藩市唐人街の社会構造(四)

西文書記・司庫員各三〇ドル、その各科職員は各二〇ドルであつて、雇用幹事および庶務員の給料は総堂の職員會議で決定される(第五二条)。分堂の交際費は該堂の自行決定による(第五三条)。

次に、財産保管委員会についての規定がある。三藩市の総堂とサクラメント分堂・ニューヨーク分堂の樓業は公有であり、財政収入も巨額に達するから財政收支を明らかにし、その保管の安全を期するため、とくに財産保管委員会を増設する(第五四条)。総堂の財産の保管委員会は一五名をもつて組織し、正主席は委員会の当然委員とし、司庫員は一律に兼任することができない。一四名の委員は総堂職員から選出し、その正副主席は互選とする(第五五条)。サクラメントとニューヨークの分堂の財産保管委員会の組織は当該分堂の自ら定めるところによる(第五六条)。

懲戒については、本堂の昆仲が大衆に反抗し、尊長を侮辱し、もしくは不法行為ある場合は相当の懲戒を与える(第六〇条)。さらに、それが進んで、内部的陰謀をたくましくし、同宗を傷害し、大局を破壊し、その証拠明確なるものは、堂籍をとりあげるほか、法によって究治する(第六一条)。昆仲が外部で事件をおこし、本堂に損害を与えるときは、本人はその賠償の責任を負う(第六三条)。昆仲が経費の支払を滞つて帰国する場合、永遠に追放する(第六三条)。本堂の昆仲で懲戒をうけるべきものが潜逃離境する場合は各地の分堂に通告して追踪究弁し、さらに本国政府と家族団体に要求して法により懲戒する(第六四条)。本堂の昆仲が本堂の義務(前出参考)を尽さないで事件発生の場合、基本金条例の罰款一〇〇ドル、その他の各費目は五倍を加えて徴収する。右は職員會議を召集して決定すべきものとする。右により納付をうけつけた場合は所要の費用の二分の一は請求人の負担とする。もし、規定の一部を支払ずみのものに対しては次の方法により処理する。

(甲) 基本金支払ずみのものは罰款一〇〇ドルを免ずる。

(乙) 基本金未支払でも、その他の各項を支払ずみのものに対しては、基本金の五倍を徴収するほか、本人は交渉費二分の一を負担しなければならない。

(丙) 年費未支払の昆仲に対しては、年費滞納額の五倍を徴収するほか、本人は交渉費の二分の一を負担しなければならない(第六五条)。

最後に慶弔についての規定がある。本堂の義務を果している昆仲の婚姻・祝寿・子女出生に対する賀儀、死亡の際には帛金が支払われる(第六六―六七条)。年令七〇才をこえる昆仲に対しては、義務を果さなくても、慶弔の礼が払われる。

右は一九四九年サクラメント分堂における懇親大会で通過した遡源堂総章の概略である。⁽⁶⁾

如上の遡源堂総章を概観すれば、昆仲の相互扶助の自治機構としての構成が明らかにされる。内部的に困窮の昆仲の救済、昆仲の紛争の仲裁裁判、家父長制的秩序の保守、昆仲不法行為に対するきびしい制裁、対外的に昆仲の生命財産に危害を加えられる場合、その保護に全力をあげてゆく自力救済的集団機構の輪廓を明らかにしめる。華僑社会に青年非行の少ないこともこのような自治機構の整備からもたらされる当然の帰結といえよう。

姓氏団体は連合して各県・府の地域団体を形成する反面、それら姓氏団体相互間に郷里でたとえば水利をめぐる糾紛、出先でも、賭場・馬券売り、洗衣行業のなわばりをめぐる経済的利害の対立をみるにいたる側面がある。さらに、居住国側からの圧力に対して何等本国政府の保護を期待しえない場合に、このような前期的集団社会構造がなお有力にその存在理由を主張しうる余地が残されている。その場合、一姓のみでは少数にすぎ、他の

有力姓氏団体に拮抗しえないとき、系譜における連関性を追索して遡源堂の場合のごとく三姓の連合をさえみている。単なる祖先崇拜の祭祀的団体というよりは、集団勢力の結集面に重点のおかれた姓氏集団であって、政治的・経済的側面においても有力に機能してゆく。

遡源堂の財政——遡源堂の財政については、明確にしがたいが、遡源堂の前掲一九四九年度遡源堂資料所載の「会議事略」のうちには、**楼業**を保持するものは、サンフランシスコの本堂とサクラメントとニューヨークの分堂のみである。本堂には遡源楼と西陵楼ほか百子会楼の三楼業がある。前二者の収入は、家賃・登記費・寄附金等年間計約三九、〇〇〇ドル、支出は保険料・給料等計約二八、〇〇〇ドル、差引年間約一〇、〇〇〇ドル余の**余剰金**がある。さらに、三番目の楼業の百子会楼は、百子会が昆仲から低利をもって募集した股本約七〇、〇〇〇ドルをもって建設されたものであって、先の前二者の年間**余剰金**約一〇、〇〇〇ドルをもって七年間でその股本を償還し、百子会楼を百子会から遡源堂の公有に移すこととなっている。そのことは遡源本堂のみのそれではなく、マニラ・シヨロン・ホンコン・シンガポール・クアラルンプール等の各地の姓氏団体にも共通することであって、それらの楼業が新築改修によりその輪奐の美を誇示し、過去から現在に結びつけてゆく一貫性の特徴を表面化せしめている。しかも、それが昆仲からの低利零細資金の集積により、実現をみていることも注目すべき特徴である。

サクラメント分堂には楼業が二座ある。一座は八〇、〇〇〇余ドル、一座は一九、〇〇〇余ドルで購入されたものであり、その楼業収入と地価と併せて計三五〇、〇〇〇余ドルと評価されている。

ニューヨーク分堂にも「百子会」があり、昆仲からの資金を集積している。遡源堂の財政は必ずしも雄厚なも

のではないが、サンフランシスコ総堂とサクラメント分堂には別に遼源小学がおかれている。

如上、遼源堂の三族は主としてアメリカ西部に集団的に散居しているが、さらに外地では香港には「僑港遼源堂雷方鄭宗親会」がある。カナダではビクトリア・バンクーバー・モントリール、さらにメキシコシティにも遼源堂があり、キューバの首都ハバナには遼源総堂がある。アメリカ大陸の各地への進出は目立っているが、東南アジアのマニラ・バンコック・クアラルンプール等の方面には遼源堂はみいだされない。せいぜい、シンガポールに「新嘉坡雷方鄭遼源堂建築会所」と宣城堂鄭氏公会——Suen Seng Thong Kwong Clan Association がみいだされるにすぎない。その集団的進出方向がほぼアメリカ大陸に限定されていることが明らかにされる。遼源堂は先公の遺像を中央に安置する祖先崇拜の祭祀団体にとどまらないで、先の総章をみる場合にも、きわめて高度に三姓の自衛的機構としての面が浮びあがっている。居住国側の政治的・社会的圧力に対するのみならず、華僑社会内部の他の姓氏団体、その他の集団からの圧力に対する自衛の面も見落されてはならない。そこには個人主義的合法的競争・対立というよりは、集団的、時としては暴力的対立の可能性すら潜在している。一姓のみの集団でなく、三姓の連合集団の成立をみたのも、小姓、ないしは弱姓回避から促進されてきたものともみられる。

遼源堂のごとく三姓同宗でなく、宗族として無関係な異姓の連合集団すら成立する場合がある。右の一典型としての劉・関・張・趙の四異性の連合からなる竜岡親義公所についてその輪廓を概観してみよう。

ハ 竜岡親義総公所(劉・関・張・趙四姓) ——

Lung Kong Tin Yee Association

本公所は劉・関・張・趙四姓の連合団体である。先の遼源堂の場合は、雷・方・鄭三姓とも「源同一脈、派衍三宗」の一派同宗であるが、本公所の場合は異姓異派の血脈的には無関係な四姓氏の連合団体で、ユニークな存在となっている。

桃園の三結義——本公所の四姓の連合をみるにいたらしめた縁起は、呉蜀魏の三国対立の時代に遡る。三国時代漢室の復興をはかろうとする涿郡の劉備(字、玄德、諡、昭烈帝)が同じく涿郡の英雄、張飛(字、翼徳)と河東解良の英雄関羽(字、雲長)とともに、張飛の宅の背後の桃の園で牛馬を殺して天地を祭り、三人姓氏は異っても結んで兄弟となり、心を合せ力を協せて漢室を扶け、同年同月同日に生れることを望まず、願くば同年同月同日に死せんと生死の交りを結んだ蜀漢の故事に由来している。兄弟の序列は劉備を兄とし、関羽を次とし、張飛をその次としている。⁽⁸⁾後に、磬河の戦いに功績のあつた常山真定出身の趙雲(字、子竜)をもあわせて四賢を祖先としている。すなわち、三国時代の桃園結義に縁由する四異姓の擬制的兄弟関係の上に成立する姓氏団体である。

もちろん、サンフランシスコでも四姓別に「三藩市劉家公所」、「三藩市関家公所」、「三藩市張家公所」、「三藩市趙家公所」の姓氏団体が存在するが、個別的には小姓であつて、黄・余等の大姓には拮抗しえないで、四姓連合して大姓に匹敵する実力を備えるために、竜岡親義公所の成立をみるにいたらしめたものとみられる。

第1表 サンフランシスコ六会館
における四姓出捐者数 (1954年度)

| 会館名 | 劉 | 関 | 張 | 趙 |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 肇慶会館 | 1 | 166 | 124 | — |
| 合和会館 | — | — | — | — |
| 岡州会館 | 15 | — | 18 | 129 |
| 陽和会館 | 112 | 2 | 17 | 73 |
| 三邑会館 | 84 | 163 | 17 | — |
| 人和会館 | 6 | — | 18 | — |
| 計 | 318 | 331 | 194 | 202 |

註 美国三藩市六会館重修六山墳場徵信録（中華民國四十三年刊）の捐款芳名録より作成

三藩市唐人街の社会構造(四)

この姓氏連合の傾向は四姓に限定することなく、さらに三国志における馬超・黄忠の二英雄の地位も関・趙・張と平衡するものであるとして馬・黄二姓も兄弟の礼遇をもって加入せしむべしとの意見さえみられる。⁽⁹⁾

右の各姓の連合には、三国時代漢室再興のための忠義の思想は一姓一族のよく發揮しうるところではないとの立場をとり、それが現代の中華の民族主義とも結びつくものとしている。すなわち、武俠精神による義侠的結合であって、決して共同利益的結合でないことが第一義的に強調されている。⁽¹⁰⁾ なお、それでも当面の現実経済生活面における勢力範囲の画定における、小姓連携のための便宜手段として行使されていることをみおとされてはならない。そのことはさらに後述にゆずる。

先に、地域団体が姓氏団体の連合とみられる場合のあることを述べたが、本竜岡親義公所に關しても、広東省西南地方の三邑・四邑集団に所属するものとみられる。そのことは本公所の所在地が広肇幫の進出地域に限定されていることと、その団体名の声音が広東音であるからである。

今、試みに「美国三藩市会館重修六山墳場徵信録」（中華民國四十三年四月刊）により、各会館の四姓の出捐者数を検討すれば第1表の通りなる。

第1表によれば、各会館別には偏倚の傾向がつよいが、六会館の総計数では、四姓が各会館にかなり均衡的に浸透している。四姓の連合による勢力範囲の拡大の意図は成功している。た

だ、合和会館のみは、その出捐者数計一、二六七名のうち余姓六六三名、鄧姓二〇三名のごとく、大姓集居の傾向がつよく、四姓の浸透の余地は残されていない。

なお、竜岡の名称の由来については、諸葛亮（孔明）の居住地の「臥竜岡」（河南省南陽県）に由来するといふ説と、広東省開平県（四邑のうちの一県）単水口竜岡に劉氏一族が居住していたことから、廟名を竜岡古廟としたことによるとの二説がある。右の両説は時期的の前後にすぎないものであって、ともに正しいといえる。親義は古義を発揚することを含意している。⁽¹¹⁾

なお、東南アジアのシンガポール・クアラルンプール・スラバヤ・ラングーン・クチン方面の劉・関・張・趙の四姓団体は「古城会館」——Ku Seng Wui Kun と呼称されている。その名称は四姓の兄弟再会し、天地を祭って聚義の宴を催した「古城」に由来している。⁽¹²⁾

竜岡親義公所の所在——竜岡親義公所も二重構造で内部的には竜岡公所（旧称、竜岡廟）と親義公所にわかれている。「竜岡公所」は、四姓の先賢の英威の肖像を祭り、祖先崇敬の美德を表示する場所であり、「親義公所」はクラブ的な書報閲覧・娯楽親睦の場所である。さらに、日常集会の場所としてはサンフランシスコには別に「名義寄廬」があり、ロスアンゼルスのはそれは「名義軒」、ニューヨークのはそれは「名義俱樂部」と呼称されている。

次に、竜岡親義公所のネットワークを理解するために、世界各地におけるその所在地を明らかにすれば次の通りである。

なお、竜岡親義公所とならんで、別個の組織のある場合、もしくは名称の異なる場合は、地名の下の括弧内にそ

れを特記した。

サンフランシスコ(三藩市名義寄廬)・ニューヨーク(紐育名義俱樂部)・ロスアンゼルス(羅省竜岡親義公所)・
羅省名義軒)・ハワイ・オークランド・ワシントン・スタックトン・ポートランド・ボストン・ボルチモア・シ
アトル・シカゴ(芝城竜岡樓業部)・トロント(都朗度竜岡青年部)・バンクーバー(雲埠竜岡実業部)・雲高華関
隴西総堂)・モントリール・メキシコ市・メキシカリ・タンピコ・キューバー・ペルー・マニラ(菲律賓岷尼拉竜
岡公所)・香港(香港竜岡親義總會)・台北(台湾劉氏張氏趙氏宗親會)・ラングーン(仰光古
城會館)・仰光連枝館)・シンガポール(星嘉坡古城會館)・クアラルンプール(吉隆坡古城會館)・サラワク(沙
月越古城會館)・ジャカルタ(印尼爪哇古城會館)・スラバヤ(印尼泗水古城會館)・メルボルン(澳洲美利浜名
義家堂)・東京(日本京浜竜岡親義總會)等。

世界各地における劉関張趙四姓団体の大陸別單位数には次の通りの数字がみられる。⁽¹³⁾

| | | | |
|---------|------|-------|------|
| アジア | 二五單位 | アメリカ | 三三單位 |
| カナダ | 七單位 | 中南米 | 一二單位 |
| オーストラリア | 一單位 | ヨーロッパ | 三單位 |
| 合計 | 八一單位 | | |

専ら広東省西南地方出身者の進出したアメリカ大陸を中心として、遡源堂の場合と同じく広肇帮進出の世界各
地に四姓の広汎なネットワークが構築されている。

竜岡親義総公所の章程——本総公所の章程によれば、その設立の宗旨は劉関張趙四祖先の桃園結義、古城聚會

の精神と劉先主の遺訓をうけついで、忠義親愛・精誠団結・合群互助をもつてする(第二条)。会員は四姓の昆仲で章程を遵守し、品行端正なものは個人会員として加入することができる(第八条)。年令二一才以下と六五才以上のものは年会費(年三ドル)を免除される(第一〇条)。会員の義務は登記費・年会費の納入・章程の恪守と決議案への服従・所務の発展に協助することである(第一条)。その権利は選挙権・被選挙権・所務の興革についての建議権、本総公所の各項の福利を享受しうることである(第二条)。

本総公所の最高権力機構は全美竜岡親義公所年会であつて、その閉会後は常任主席を最高領導者として、執行委員会が最高執行機構となり、監察委員会が最高監察機構となる(第三条)。本総公所は主席一名、副主席三名とし、任期は一年四姓輪番とする(第一条)。年会は毎年十一月の第一日曜日に全体会員大会を召集する。本総公所には青年部と婦女部を設置する(第二七条)。また別に樓業保管委員会が設置され、監査一三名を設け、そのうち二名は本総公所の主席と監察委員長をもつてし、その他の一名はオークランド・スタックトン・ロスアンゼルス・ニューヨーク・シカゴ・ワシントン・棉仏市・シアトル・ポートランド・ボルチモア・ボストンの一公所の当該年度の主席をもつてあてている(第二九条)。

右の本総公所の章程の内容のうちに、その構造の輪廓が明らかにされる。ついで、同公所の職能について概観を試みよう。

本総公所の職能分析——右の章程第二条にも明らかにされる通り、まず四姓先賢の祭祀的団体として機能する。先賢の誕生日には連歡会・演劇・青年部の瑞獅隊の演舞等が展開され、宗親の情誼を連結する。漢昭烈帝劉玄德の誕生日は農曆正月十九日、漢寿亭侯関雲長のそれは農曆六月廿四日、漢桓侯張翼徳は、農曆八月八日、順

平候趙子竜は農曆九月九日となっている。さらに、新曆四月四日を「竜岡日」として各公所が記念大会の開催のほか、時として世界竜岡親義総会（一九六三年度、トロント開催）を開く。そのほか、清明節（農曆三月）の掃墓には先昆仲の陵墓に団拝し、公祭が正副会長の主祭のもとに行なわれる。

友植的団結の側面は定期的に懇親大会の開催・昆仲の郊遊・観光・音楽・戯劇・体育・観送迎等多面的に展開される。青年部・婦女部・音楽股・瑞獅団等を組織する。相互扶助については、教育面では竜岡中小学の経営、国語教育・奨学金制がある。昆仲の葬祭には四姓兄弟が執紼の礼をとり、役員等の場合は公所から出棺し、昆仲全体が齊集して哀思を表明する。さらに、敬老慈幼の諸事宜を行なう。

これらの社会的施設面以外に、経済的諸活動としてはまず楼業の建設があげられる。公所の財政的収入は会費以外に多くの場合、楼業の賃貸の収入に依存する。多数の昆仲からの低利出資により「百子会」を結成して楼業を購入もしくは建設する。シカゴの公所は三百余名の昆仲の百子会方式による出資により、またニューヨークのそれは五百余名の昆仲の出資により、ハワイの公所は六百余名の昆仲からの集款により建設されている⁴⁴。上層楼を公所の礼堂神座にあて、下層の一―二層楼は店舗等に貸付け、その収入をもって公所の主たる財政収入源とし、昆仲への出資金と利息を償還して後、公産に移してゆく。

日本にも一九六一年「京浜竜岡総会」が成立し、横浜に新楼屋を建設し、ついで一九六三年には「竜岡之友社」を創設して、各地の昆仲からの出資により不動産投資と観光事業を經營する。その營業利潤をもって各地の竜岡組織に補助し、遅くとも六カ年以内の短期的な資本回収を企図している⁴⁵。

戦後世界各地の唐人街における華僑資本の建築ブームがみられるが、それが右のごとき昆仲の低利零細資金の

三藩市唐人街の社会構造(四)

集積の上に実現をみている場合が少くない。

各公所に樓業部・樓業保管委員会・実業部等が併設され、昆仲の零細資金の運用のもとに、漸次公産の拡大を
はかり、唐人街建設を促進せしめている。

政治面については、国民政府側に立ち、反共の意識を明確にしている。ただ、地域的には居住国の体制に影響
されがちであつて、總体的に觀察するとき政治的多元性の特性を浮びあがらせている。

二 黄江夏雲山公所 —— Wong's Family Association

黄姓はアメリカ大陸における随一の大姓である。三藩市の本公所はもと黄江夏堂と雲山公所との両団体から成
立していた。前者の歴史は久しくて不明に属するが、後者の雲山公所は光緒初年(一八八〇)に創立をみている。

両者が文武の二重構造によるものであることは前号拙稿(三)(第二九—三〇頁)に明らかにした通りである。三
藩市唐人街が二十世紀開始以降、平穩化するとともに、民国三十一年(一九四二)挙行の黄族第一次懇親大会に
おいて両者の合併が決議され、「黄江夏雲山総公所」と改称して今日におよんでいる。

黄姓は軒轅黄帝の末裔であり、五帝の世代に雲公が黄国(今の河南省光州)に封ぜられ、国名の黄を姓とした
ことから黄氏の得姓の始祖とされている。「江夏」は黄姓の郡号であつて、漢は江夏郡を西陵故城、すなわち今
日の湖北省黄州府黄冈県においていた。「雲山」は百四世澄洛公の長子居正が福建省莆田県から広東省の岡州

(現在の新会県)に遷移し、居正公派系を形成し、居正公の長子源深公が新寧県(今の台山県)に葬られた。この源深公は宋の淳熙八年(一一八一年)進士となり、江南徐州府知府、浙江都漕運使の官にあり、雲山と号していたことに雲山公所の名称は由来している。したがって、黃江夏雲山公所は広東省新会県・台山県地方の居正公派系の姓氏団体であることを明示する。姓氏団体であると同時に、地域団体としての同姓同郷団体としての実体を保有している。

今、次に「黃江夏雲山公所」の所在地を明らかにすれば次の通りである。

(アメリカ)

| | | |
|----------|--------|----------|
| サンフランシスコ | ニューヨーク | ワシントン |
| オークランド | サクラメント | オグデン |
| シカゴ | エルパソ | フィラデルフィア |
| ノーフォーク | フレズノ | ミネアポリス |
| ロスアンゼルス | シアトル | スタックトン |
| ポートランド | バアファロ | ハートフォード |
| フェニックス | | |
| (カナダ) | | |
| バンクーバー | モントリール | アルバータ |
| トロント | エドモントン | |

三藩市唐人街の社会構造 (四)

(その他)

メキシカリ

キューバ

香港

右の諸地方は台山県華僑の進出地域であつて、専らアメリカ大陸に集中しているといつて差支えない。

サンフランシスコの中華總會館——Six Companies への董事派遣数は甯陽(台山)會館が最大多数で総数五五名中二七名を占め、ついでその甯陽會館の主席選出の頻度において黄姓が筆頭を占めることから、黄姓が三藩市唐人街の第一位の大姓であることが明らかにされる。バンクーバーの唐人街でも黄姓は本誌第十八号所載拙稿「明治年間における華僑資本」(一)のうち明らかにした通り、同市居住華僑人口の約半数を占めている。

シンガポールの星洲台山會館の會員総数は僅か二、三七三名であるが、そのうち黄姓は五二〇名で筆頭の巨姓であり(一九五三年度)、絶対数は少いが、台山黄姓の集団進出の傾向がみられる。シンガポールには台山黄家館——Toi Shan Wong Kah Koon 台山潮沙黄氏同郷会——Singapore Toi Shan Chiu Sha Wong Clan Association のつとく台山黄姓のみの団体もみられ、台山黄姓の結集力のつよことが明らかにされる。さらに台山以外には、シンガポールには次の通りの黄姓の姓氏団体がある。

南洋黄氏總會——Nanyang Huang Shi Chung Huay

順徳沙溪黄族同郷会——Shun Tak Kong Mei Sar Khai Wong Clan Association

福州義序黄氏公司——Singapore Foochow Ngeesu Wong Clan Association

潮州江夏堂——Teochew Kanghay Ting

瓊崖黄氏公会——Heng Jai Wong Clan Association

右のごとく出身地別に黄氏の同姓団体の分立をみている。右のうち「南洋黄氏總會」のみは出身地の如何を問わない包括的な黄姓の団体である。

同姓同郷の自然的結合關係に基盤をおく集団進出の傾向は台山黄姓の場合にはとくに明確に識別される。だが、他面「新嘉坡広東黄氏互助社」に参加する台山黄姓は全會員数計四一七名のうち四名にしかすぎない。

さらに、シンガポールから北上して、スンビラン州の台山会館の場合は會員計四〇二名中黄姓四二名、セランゴール州台山会館の會員計八四〇名中黄姓一三八名、ペラ州台山会館の會員計九六〇名中黄姓七七名のごとく漸次後退し、アメリカ大陸のサンフランシスコ・バンクーバーの場合と比較すると問題にならない。

次に、本公所の職能については、黄族江夏雜誌の「黄族總會於同族之任務」のうちには「郷事糾紛の勸解・外僑帰国の指導・友愛的氣誼の連絡・政治的意味にわたらないこと」の四カ条をあげている。さらに、黄族江夏堂總會簡章の第二条宗旨には「本会は親情を連絡し、族譜を修編し、學術を研究し、實業を振興するを宗旨とし、およそ中外政治に關しては、概ね干渉せず」としている。右にも明らかにされるごとく、同姓間の排難解紛・海外からの同姓の本国帰還の指導・友誼的連絡・族譜の編修・學術の研究と實業を振興して、生計を維持し、さらに墳墓の祭掃・春秋の祭典・恤孤施医の慈善等にいたる事業を行なうこととしている。

バンクーバーの黄江夏堂には文彊学校（小・中学校、民国一四年設立）が設置されているが、サンフランシスコの本公所には特設の教育機関はない。

公所の内部組織は全美総長・正主席・副主席兼隊長・中文書記各一名・西文書記二名・代表二名・財政二名・

三藩市唐人街の社会構造(四)

核数(監査)二名・庶務一名・万石寄廬主任二名となっている。「万石寄廬」は本公所のクラブ的存在である。

何れにもせよ、アメリカ大陸における台山黄姓の集团的進出は圧倒的であって、大姓としてアメリカ各地に有力な存在を示している。既往の中国人社会の研究が同郷・同業・集成等の諸団体に限られていたのに対し、海外の中国人社会をみる場合、前期的な中国人社会固有の「姓氏団体」は意外に大きな比重を占めていることが明らかにされる。台山黄姓がアメリカ各地に料理・洗濯の職人・業主として進出をみているが、本稿では一応この程度にとどめておく。

ホ 至孝篤親総公所(陳・胡・袁三姓)——

Gee How Oak Tin Association

本総公所は陳・胡・袁三姓の連合による団体で、メキシコのメキシカリからカナダのウィニペッグにいたるまでの全米各地の二四カ所の分所を統轄している。

陳姓の聖祖は黄帝の八代の孫の帝舜公であって、舜は姚墟に生れたことから姓は「姚」となり、諡は重華公となっている。舜から三十四世の満公は陳国に封ぜられて、国名の「陳」をもって姓とした。その諡は胡公であって、子孫はまたその諡の「胡」をもって姓とした。

「袁」は陳胡公の子孫であって、陳・胡・袁三姓は同宗とされ、この点遼源堂の雷・方・鄭三姓同宗と軌を一つにしている。マニラの「媽訥五姓連宗会」は、陳・胡・田・姚・虞の五姓の連宗的姓氏団体である。陳胡公の

九世の孫の厲公は改姓して「田」とした。また、聖祖帝舜公が「姚」に生れ、「有虞」氏と号したことから、姚・虞・陳・胡・田の五姓は同じく聖祖有虞重華公から出た子孫であるとされている。²³⁾

シンガポールの「星洲潁川公所」——Singapore Eng Chuan Kong Sohでは、右の五姓のほか「袁」姓をも加えて姚・虞・陳・胡・田・袁の六姓の連宗姓氏団体を組織している。²⁴⁾だが、六姓団体は名目上のことで、事实上は福建系の陳姓のみの団体となっている。「潁川」は陳姓の郡号であって、聖祖帝舜公から七五世の陳実公(諡・文範公)が潁川郡の出身で、桓帝の時潁川侯に封ぜられたことから「潁川」は陳姓の郡号となっている。²⁵⁾

何れにもせよ、アメリカ大陸ではシンガポールやペナンの場合のごとく陳姓は必ずしも大姓でない。サンフランシスコの小姓雑居の「岡州会館」で絶対数では問題にならないで(一、三四五名中陳姓二二八名)、漸く第一位を占めている程度である。そのことが陳・胡・袁三姓の連合をみるにいたらしめてゆくことは、遡源堂や竜岡公所の場合と同様弱姓の迎る自然の経過といえよう。

本公所の祭祀は夏曆八月十五日の聖祖帝舜重華公の生誕日に行なわれる。懇親大会は三年毎に開催される。

内部機構は美西総理一名・協理一名・美東総理一名・協理一名・中文書記・西文書記・交際・財政・核数各二名・議長三名・評議員一六名をおく。別に青年部・婦女部・樓業保管委員会(五名)が特設されている。

サンフランシスコの「美洲至孝篤親公所」のほかに、次の各地に「至孝篤親公所」が設置されている。

ワシントン ニューヨーク ロスアンゼルス

ポートランド ポストン クリーブランド

メキシカリ ウイニーペッグ

三藩市唐人街の社会構造(四)

なお、サンフランシスコには、陳姓のみの「陳穎川総堂」——Chin Wing Chuen Benevolent Association
があり、さらにクラブとしての「歴山寄廬」がある。歴山は舜帝の農耕に従事したところである。²⁸ (未完)

- (1) 全美遡源堂第十一届懇親大会始末記、(四)遡源同宗縁起、第一〇頁
- (2) 同右資料、(二)巻首語、第五頁
- (3) 同右資料、同箇所
- (4) 以下アメリカ各地における遡源総堂と分堂の昆仲人口数は、同右資料、(十)会議事略より算出した。
- (5) 同右資料、(十)会議事略、第八四頁
- (6) 遡源堂の総章については同右資料、(一)遡源堂総章、第五六一―六一頁
- (7) 遡源堂の財政については、同右資料、(十)会議事略
- (8) 湖南文山著「通俗三國志」上巻、第四一―四三頁
- (9) 竜岡季刊、中華民国四十七年刊、第一〇号所載、趙士奇「響應建立全球性竜岡総組織」第五頁
- (10) 竜岡季刊、中華民国五十二年刊、第三三三号、趙伯勳「竜岡精神の实践」第七―九頁
- (11) 竜岡季刊、中華民国五十一年刊、第二六号、「忠義仁勇話、竜岡」第一頁
- (12) 湖南文山著、前掲書、「劉玄德古城聚義」第五五〇―五五八頁
- (13) 竜岡季刊、中華民国五十一年刊、第二六号、第三六頁
- (14) 竜岡季刊、中華民国五十三年刊、第三三―三四号、公所史料、第四二―四三頁
- (15) 竜岡季刊、中華民国五十二年刊、第三二号、所務報告、第三六頁
- (16) 馬來亞台山會館連合會、第三屆特刊、一九五五年刊、第一五―四八頁
- (17) 新嘉坡廣東黃氏互助社復興二週年紀念出版「黃氏家譜」、社員通訊錄、第三三三―三四八頁

- (18) 馬來亞台山會館聯合會、前掲書、第一一六六頁
- (19) 黃族江夏雜誌、第三期、「黃族總會對於同族之任務」、第二一一二四頁
- (20) 同右、第一期、「黃族江夏堂成立紀事」、第二〇一二二頁
- (21) 黃定文著「華僑黃氏先賢列伝」、第三九頁
- (22) 陳匡民編著「美洲華僑通鑑」、第八九頁
- (23) 菲律賓媽訥五姓連宗會二十周年記念特刊、中華民國四十四年刊、「媽訥姓氏世系政」、第九五頁
- (24) 海外文庫「華僑陳氏先賢列伝」、中華民國四十八年刊、第五九一六〇頁
- (25) 馬來亞陳氏家族特刊、中華民國五十年刊、第二頁
- (26) 海外文庫「華僑陳氏先賢列伝」、前掲書、第七一頁

「ことわり」、前号掲載「三藩市唐人街の社会構造」(三)のうち、不明と誤りの箇所を次に補正させて頂く。

| | 所在 | 誤 | 正 |
|------------|-------|------|----------|
| 第一二二頁二桁目上段 | | 不明 | 村前譚姓一百八十 |
| 同右 | 二桁目下段 | 不明 | 北達譚姓三百五十 |
| 同右 | 三桁目上段 | 不明 | 北達梁姓三十 |
| 同右 | 三桁目下段 | 不明 | 秀村譚姓二百五十 |
| 第一二二頁六桁目上段 | | 礼步鄭姓 | 礼步廖姓 |